



八高新時代!! 君も挑戦、八高で三刀流!!

## 「知の泉」に「緑の風」吹く

令和5年7月21日(金)

兵庫県立八鹿高等学校

校長 山本 宏治

9

八鹿高校新聞に次の原稿を寄せました。

### 自ら欺かず

「言霊」(ことだま)という言葉をご存じですね。これは、「ことばに宿ると信じられた霊力」という意味で、発せられたことばの内容どおりの状態を実現する力があると信じられていました。

やなせたかし原作の「アンパンマン」に登場するジャムおじさんは、パン生地を一生懸命心を込めてこねながら、「おいしくなあれ、おいしくなあれ」と言い続けます。パン生地はジャムおじさんのこの言葉を、聞いているのです。だからこそおいしいパンができあがる。そして、生地をこね終えたジャムおじさんは、必ず次のように言います。「これでよし!」

彼は決して、「まあ、こんなもんでいいか」とは言いません。「こんなもんでいいか」という気持ちで作ったパンは、いや、パンであれ何であれ、「こんなもんでいい」という程度の完成度にしかならないでしょう。

「これでよし!」は、私たちが心を込めて取り組んだか、自分に嘘をつかず、人を騙したりせず、誠実に物事と向き合ったかどうかを振り返る働きを持つ言葉です。授業や部活の練習が終わったとき、掃除をしているとき、家のお手伝いをしているとき…。

「これでよし!」と言葉に出してみましよう。本当に「これでよし!」と思えるかどうかは、あなた自身が一番よく知っています。誰かを傷つけたり騙したりして、その人が苦しみ悲しむ姿をみながら「これでよし!」なんて言えますか?やらなければいけないことをごまかして楽をしようとしている時「これでよし!」なんて言えますか?

「自ら欺かず、これを

天に事うる(つかうる)と謂う」

(「言志叢録」第106条 佐藤一斎)

八高生には是非とも、自らを欺かない生き方を追い求めていただきたい。